

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

第 24 回シンポジウム

「未来の交通システムのためのデータの収集と利用」

日時 : 2021 年 11 月 26 日 (金) 13:30 ~ 16:25

会場 : オンライン配信 (Zoom Webinar)

自動運転やパーソナルビークルの実現には高信頼の環境認識や位置推定が重要です。一方、現在の自動車や交通システムの安全性向上のためには大規模な交通データに基づく交通マネジメントやドライバの特性の理解が欠かせません。これらの未来ビークル実現のための取り組みには「データの収集と利用」が一つの鍵になります。

そこで今回は、未来ビークルに関わる「データ」に焦点を当て、『未来の交通システムのためのデータの収集と利用』と題してシンポジウムを実施いたしました。シンポジウムでは、この分野の最先端で活躍されている研究者と本センターの「低炭素社会と安心・安全コア」のメンバーが公開データの紹介やデータ処理のツールなどを含めて最近の研究開発動向を紹介いたしました。

本シンポジウムには 57 名の参加があり、各講演終了後に行われた質疑応答では今回紹介した研究の活用など具体的な質問が寄せられました。

【講演 1】

「自動運転のための地図の作成と利用」

名城大学 理工学部 メカトロニクス学科

准教授 目黒淳一氏

【講演 2】

「交通ビッグデータの分析と活用」

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系

准教授 松尾幸二郎

【講演 3】

「オープンソースソフトウェア・ライブラリを活用した点群処理の紹介」

産業技術総合研究所 情報・人間工学領域

研究員 小出健司氏

【講演 4】

「道路シーン解析・自動運転学習のためのデータセット」

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系

教授 三浦 純

【講演 5】

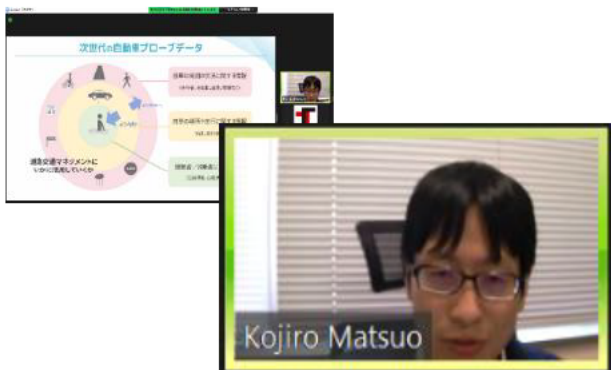
「ドライビングシミュレータとドライバ行動計測への応用」

豊橋技術科学大学 機械工学系

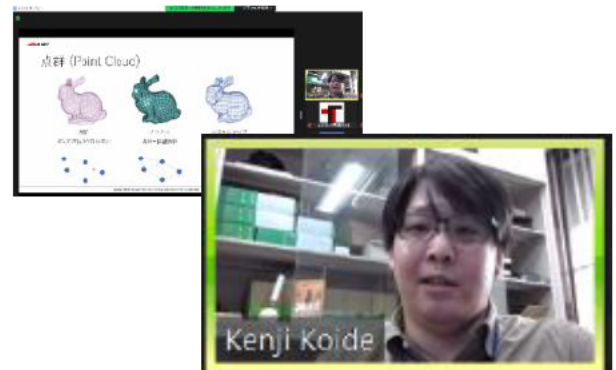
講演の様子



【講演 1】



【講演 2】



【講演 3】



【講演 4】



【講演 5】